

## 令和3年度 障害者支援施設ライフかすみ事業報告

1, コンセプト 一人ひとりの思いを大切にす

### 2. 重点目標と課題

#### <重点目標>

『新型コロナウイルス感染防止に努め、高齢化・重度化に重点を置き一人ひとりを重視した支援に取り組む』

#### <課題への取り組み>

#### (1) 新型コロナウイルス感染防止

- ・新型コロナウイルス感染防止委員会の開催（定期、臨時）
- ・基本動作及び着衣等の注意点の徹底
- ・入室口の限定と自動検温・消毒機の設置
- ・福井県が発令する注意報～特別警報時の段階的な外出時等の行動制限を定めた
- ・福井県障がい福祉課への各報告の徹底（PCR検査実施状況）
- ・福井県が実施する「感染対策チーム派遣活動」への参画
- ・隔離棟の有効的な活用（令和2年にあすなの班作業所をレッドゾーンとした）

#### (2) 高齢化利用者に対する支援の向上

高齢化は年々進んでおり、身体機能の低下が見られる方をはじめ、認知症の診断を受けた方、また疾患等により入院・手術を受けた人もいる、当然ながら終末期が想定される方もおられる。もちろん、介護保険施設等、適切な機関・施設への移行も検討し、保護者・家族の方とも相談しながら対応している状況である。長年生活された場所での生活を継続希望されるご本人、保護者・家族の意向もあるが、制度や法律等も踏まえ、ご本人にとってよりよい選択がなされるようにサポートが必要である。またこのような状況下で、支援員が介護福祉士・社会福祉士等の国家資格取得を通し、身体介護・ケア等の介護技術や福祉分野の制度等の知識取得を推奨し、資質向上に継続して努めている。近年の特徴として特殊浴槽での入浴が必要な利用者が増えてきている。現在ひまわり町に1台設置しているが、男女それぞれの使用が必要であることから、特殊浴槽の増設は必須と感じている。現在はコロナ禍で工事延期している「ひまわり棟トイレ浴室改修工事」のプランには特殊浴槽室が1つ増設されることになってはいるが、対象者の急増から車椅子での移動が困難な為に本館に特殊浴槽室を増設できないのかとの意見が寄せられている。

また、高齢化に対して、身体機能（残存機能）の維持に努めていくことは必要である。日中活動班での活動は支援員不足と新型コロナウイルス感染防止の観点からも実施しにくい状況であるが、現在の日常生活の中で取り組めること（何気ない生活動作や家事

的なことを活動と捉えていく等)を工夫している。

### (3) 強度行動障害者に対する支援の向上

福井県主催の強度行動障害支援者養成研修・基礎研修は随時受講を務めているが、今年度からは新たに強度行動障害支援者養成研修・フォローアップ研修が開催され、当事業所支援員も1名受講した。行動障害による他害等を未然に防ぐためには、自閉症等の障害特性を理解し、環境の構造化や状況の変化に対する説明、見通しなどを特性に合わせて予め伝えるといった支援が基本的に必要とされるが、環境の変化を全て予測して防ぐことは不可能であり、強度な行動障害を有する方を支援していると、このような支援だけでは理解や改善に導くことができないといった葛藤を抱える。そのため、法人内でもアイディアを出し合いチーム支援で支援にあたる事や、上記のフォローアップ研修を活用しより専門性を高めていくことが必要である。

### (4) 日中活動の実施と継続

コロナ禍の中で全体の利用者が集合することが出来ずに日中活動グループの機能が停止している。小グループ化して実施はしているが不定期となっているのが現状である。今回は特に日中活動の大切さについて別資料にその想いを集約した。

### (5) Wi-Fi 環境構築に必要なネットワーク機器導入や体制整備をすすめるとしていた。

現時点で利用者が使用できる端末は2台寄贈されたところである。Wi-Fi 環境については業者との工事範囲等の調整を行って令和4年度に引き続き取り組んでいく。

## □短期入所・日中一時支援

### <重点的な取り組み>

- ・新型コロナウイルスの対策
- ・若年層から重度高齢化への対応
- ・長期利用・緊急時の受け入れのスムーズな対応
- ・人材確保

#### (1) 新型コロナウイルスの対策

- ・利用前、午後の検温、定期的な手指消毒・部屋の消毒・換気の実施。
- ・受け入れ方法：入所利用者との接点を持たないよう配慮している。ただ環境の変化が苦手な利用者や宿泊時には今まで通り感染予防に努めながら、町での受け入れを続けている。
- ・県外への往来、本人・家族の発熱があった場合等、利用を控えるよう保護者へ協力をお願いしている。

#### (2) 若年層から重度高齢化への対応

利用者および保護者が高齢になり入院・手術が必要となり、長期利用となるケースや思春

期で新たに強度行動障害がみられたり、老化現象から介護が必要なことが増えてきている。

#### (3) 長期利用・緊急時の受け入れのスムーズな対応

緊急的な受入れは2件あった。(1件は保護者が入院となり、長期利用。もう1件は保護者の親が亡くなり、式の間日中一時支援の利用)

また地域生活支援拠点等の検討委員会に参加し、主に緊急受入についての体制確保に努めている。

#### (4) 人材確保

短期入所・日中一時支援では主にパート職員の協力を得て、利用者の安全・安心な受入れに努めている。令和3年度一時期女性パート職員が居らず、町に負担をかけることがあったが、女性パート職員が2名増え、計5名でバランスよく配置が出来るようになった。ただ学生パート職員は卒業までと期限があるため、今後人材不足になることが考えられる。

	にこにこ (鳶川)	いきなご (本田)	あ〜と (三村)
<p>①令和3年度の振り返り</p>	<p>・慣れる前に今年度が終わってしまっただけもあり、基本的な運営で精一杯であった。</p>	<p>・ほとんど活動ができず残念だった。                  ・<u>職員の人数が少なく、活動が中止になる事もあった。</u>                  ・12月にはクリスマス会ができて楽しむことができた。</p>	<p>・全部で21回実施。人数が増え、作業グループと造形やレクレーションのグループに分けて行った。                  ・作業班の異動があった数名は最初は何をしていいのかわからずソワソワしている方もいたが、いろんな活動の提供をすると徐々に慣れていっている様子だった。                  ・作業グループでは雑巾縫い中心に紙刺繍や花布巾、縫い物を行う。雑巾を縫うことに集中している利用者も多く、<u>職員不足もあり製品の仕上げが追い付かない状態</u>だった。                  ・コロナの影響で売場もなく、収入もほとんどなく、在庫が増えている。                  ・造形やレクレーションでは、散歩に行ったり、造形で季節の物を作ったり、パズルや塗り絵、アイロンビーズ、かるたなど選択してもらい、行った。造形で作った物などは玄関に飾るなど行った。                  ・支援が必要な部分が多く、<u>個別に対応がなかなか難しく、途中で町へ戻ってしまう利用者もいた。</u>また、活動場所も狭く、密になり、感染予防が難しい状態だった。                  ・さをり織りを実施できなかったことが残念に思う。                  ・<u>アールヴリユット展へ作品を提出</u>している。</p>

	にこにこ	いきなご	あ〜と	
②今後の日中活動について	運営面（支援者視点）から	<p>○職員も利用者も増えたことから、当初様々な試み（造形・体操・スポーツなど）をやっていた。しかし職員確保が難しかったため、基本的な内容（紋紙・ウォーキング・水分補給）がほとんどであった。</p>	<p>○利用者さんのできることに差があったり、限りがあつたりして、なかなか一緒に一つの活動をするのが難しい。</p> <p>○支援者側がどんな活動をしているか分からないという意見があり、班担当職員全体での話し合いの時間がとれるとよいと思う。（なかなか難しいですが）</p>	<p>○小グループでの活動の充実</p> <p>○リハビリ中心、運動などアクティブな活動、造形やあ〜と的な活動など目的をしっかりと決めての活動</p> <p>○職員の確保</p> <p>○活動人数の少数化</p> <p>町にも残り、日中活動もあるというスタイルは職員確保が難しく、どちらも中途半端な感じになっていた。職員確保の難しさや目的への意識が明確にされていないことでの日中活動への意識の低下（職員）が感じられるため、<u>少人数で目的を持って活動できるような仕組みが必要</u>と感じた。</p>
	利用者視点で感じることに	<p>○一人一人に対する関わりが薄かったように感じる。</p> <p>○<u>紋紙に興味がない人への代替案</u>を提示できなかった。</p> <p>○途中で帰ってしまう人へのケアができなかった。</p> <p>○<u>毎日同じことの繰り返しに退屈しているのでは？</u></p> <p>○お楽しみ会など期待していたか？</p>	<p>○<u>紋紙作業がやりたい利用者さん</u>がいる。</p> <p>○今後しばらく、まだ活動することができないと思うが、利用者さんは環境や人間関係に変化がある。</p> <p>○<u>日中活動の時間を楽しみにしている</u>と思う。早く再開して欲しい。</p>	<p>○この活動が好き（<u>紋紙、雑巾縫い</u>など）とはっきりされている方も多く、<u>その活動をする時間を提供できると良い</u>と感じた。</p> <p>○交流が少ない今、他の町の利用者や職員との関わりを楽しみにされている方も多いと感じる。</p> <p>○仕事に行くという感覚が残っている方もいて、時間になったら町以外のところへ行き、活動することで<u>生活のメリハリが</u>出来、気分も切り替えることが出来る。</p> <p>○<u>利用者主体の活動や利用者の声を実現していけるように</u>すると活気に繋げられるのではないか。</p>
今後、来年度についての考察	<p>◎新年度の体制が落ち着くまで&amp;コロナの状況により、しばらく日中活動班を実施できない。</p> <p>大人数での活動には限界あり。（本人の特性や希望等の多様化に応えられない、職員が確保できない）</p> <p>☞日中活動班はそのまま置いておきつつ、新たな形や活動のありかを見出していけなくてはならない</p> <p><u>基本は町での活動や個別支援を充実させていく。</u> 以下の例はあくまで「案・たとえばの話」として</p> <p>例&gt; ①あ〜と班の手芸の部分は大切に残していく →どこかの町で実施し、希望者（手芸がしたい人のみ）はそこに行って参加する</p> <p>②紋紙は町ごとで活動の一環として実施 →訓練棟を町ごとで使用予約できるように整備</p> <p>③日常生活の中のひとこまを活動として捉える →清掃・雪かき・草取り・洗車・洗濯 など</p> <p>④wifi 設置後の活用 →オンライン交流（同じ時間にあわせる必要）</p> <p>⑤ミュージックケアを町で開催するなど、職員の得意分野を活用し派遣</p> <p>⑥芸術・文化的活動もひとつとして…アールブリュッド展</p> <p>⑦ベタンク、フライングディスク等を日常的に取り組む</p>			

令和3年度活動一覧ライフかすみ

月	日	記 事
4	1	新担当の紹介 新グループ紹介 日中活動リーダー会議
	1～7	個別支援計画作成
	5	感染症対策委員会
	13	たけとう往診 (新型コロナ感染予防で延期)
	14	企画会議
	19	定例保護者会総会 (新型コロナ感染予防で中止：書面決議へ変更)
	15	運営会議 ライフ主任会議 考課者研修
	18	保護者会面会日 (コロナ感染注意報で中止)
	29	春休み帰省日については自粛体制
5	7	コロナワクチン接種 (利用者65歳以上・従事者)
	10	感染症対策委員会
	11	たけとう往診
	12	企画会議 寝具交換 (たちばな、あけぼの)
	13	側溝掃除 婦人科検診 (乳がん検診)
	17～19	コロナワクチン接種2回目 (利用者65歳以上・従事者)
	19	内科検診
	20	運営会議 ライフ主任会議
	25	寮内大掃除
	26	寝具交換 (ひまわり、こがね)
24・27	粗大ゴミ運搬	
6	1	開園記念行事 (各棟で記録DVD鑑賞)
	2	グラウンド除草・清掃 35歳以下職員生活習慣病検診
	3	サービス向上委員会 (虐待防止チェックリストの実施)
	4	非常ベル点検
	5・6	福井県障がい者スポーツ大会 (フライングディスク・陸上)
	7	感染症対策委員会
	8	たけとう往診
	9	35歳以上職員生活習慣病検診Aグループ 企画会議
	13	福井県障がい者スポーツ大会 (ボウリング)
	15・16	サービス管理責任者更新研修
	14	胃透視
	16	歯牙検診
	18	運営会議 ライフ主任会議
	23	35歳以上生活習慣病検診Bチーム
	24	運営会議 ライフ主任会議
	29	日中活動リーダー会議
	7	5
7		新型コロナウイルス感染防止対策会議 (第2回)
8		胸部レントゲン
13		たけとう往診 強度行動障害支援者基礎研修会参加
14		企画会議
15		運営会議 ライフ主任会議
20		あけぼの棟 日帰り旅行 (コロナウイルス感染症対応で内容変更)
21		ワクチン接種64歳以下1回目
29		日中活動リーダー会議
21		新型コロナウイルス感染防止対策会議 (第3回)
23		日中活動リーダー会議
29	仁愛短期大学実習受入～8/12 (前期)	

月	日	記 事
8	2	感染症対策委員会 図書利用の再開
	3	喫茶店 (再開)
	10	たけとう往診 主任打ち合わせ (コロナ対応)
	11	ワクチン接種64歳以下2回目 企画会議
	11	夏の帰省Aチーム (新型コロナウイルス対策の為に分散した帰省体制の工夫)
	14	夏の帰省Bチーム
	16	仁愛短期大学実習受入～8/27 (後期)
	18	図書 (再開)
	19	運営会議 ライフ主任会議
	26	夏のおたのしみ行事 (かき氷)
	30	金城大学ソーシャルワーク実習受入～9/3
9	1	日中活動リーダー会議
	6	感染症対策委員会 仁愛大学保育実習受入～9/17(コロナ対策のため3月に延期)
	8	企画会議
	14	たけとう往診
	15	県立大学2年次見学実習6名
	16	運営会議 ライフ主任会議
	22	寮内大掃除
	17	運営会議 ライフ主任会議
	26	保護者物故者法要 (面会は中止)
27	県立大学ソーシャルワーク実習～10/29	
10	4	土石流災害避難訓練 評価者研修 (午後)
	5	感染症対策委員会
	11	利用者の検尿検便～17日
	12	たけとう往診
	13	利用者の採血検査 企画会議
	17	保護者面会日 (コロナ感染防止対応による制限付き面会)
	21	夜間避難訓練
	26	日中活動リーダー会議
27	内部研修 「虐待防止・権利擁護・身体拘束の禁止」	
11	1	感染症対策委員会
	4	秋のお楽しみ行事
	6	消防設備点検
	9	庭木剪定
	9	たけとう往診
	10	夜勤従事者採血 企画会議
	18	運営会議 ライフ主任会議
	21	保護者面会日 (訓練棟)
25	サービス向上委員会	

月	日	記 事
1 2	1	インフルエンザ予防接種（利用者）
	6	感染症対策委員会
	8	インフルエンザ予防接種（職員）
	1 0	内部研修 権利擁護・虐待防止（2回目）
	1 4	日中活動リーダー会議
	1 6	運営会議 ライフ主任会議
	1 7	内部研修 権利擁護・虐待防止（3回目）
	2 2	クリスマス会
	2 8	冬休み帰省（新型コロナウイルス対策により自粛した方法にて実施）
1	4	冬休みからの帰寮
	1 1	たけとう往診
	1 2	感染症対策委員会
	2 0	運営会議 ライフ主任会議
	2 2	アールブリット展会場応援
	2 4	延期）福井県地域福祉課実地指導
2	2	福井県虐待防止研修の参加
	9	コロナワクチン3回目接種65歳以上男性利用者と従事者
	9	企画会議
	1 5	金城大学ソーシャル実習～3月11日まで
	1 6	福井県スポーツ振興委員会参加
	1 6	コロナワクチン3回目接種65歳以上女性利用者と従事者
	1 8	福井県強度行動障害者支援者養成研修参加
	2 1	仁愛大学栄養士実習～3月7日まで
2 8	散髪	
3	4	坂井地区総合支援協議会実務者研修 zoom参加
	7	感染症対策委員会 仁愛大学保育実習1名 ～18日まで
	1 0	企画会議
	1 7	運営会議 ライフ主任会議
	2 3	日中活動リーダー会議
	2 7	保護者会面会日（コロナ感染注意報で中止）
	3 0	コロナワクチン3回目接種 64才以下利用者



ライフかすみデータ

	施設入所支援	生活介護
定員	125	130
現員	118	123

令和3年10月1日

現在

以下の表3つについては施設入所支援の部分

年齢別人数・平均年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳以上	計	平均年齢	最年少	最高齢
男性	0	1	9	13	3	14	15	5	0	60	58.7	26歳	89歳
女性	0	3	5	8	4	13	15	7	3	58	63.2	22歳	92歳
合計	0	4	14	21	7	27	30	12	3	118	60.9		

障害支援区分	自立	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計(人数)	合計(区分)	平均
男性				1	11	23	25	60	312	5.2
女性			1	1	11	23	22	58	296	5.1
合計			1	2	22	46	47	118	608	5.15

支給市町	坂井市	あわら市	福井市	永平寺町	勝山市	大野市	鯖江市	越前市	越前町	南越前町	敦賀市	小浜市
	29	12	37	4	3	3	7	12	1	3	3	2
		安城市										
	1	彦根市										

短期入所・日中一時支援	短期入所	日中一時支援
定員(1日の上限人数)	4	7
現在の登録者数	13	18

利用している年齢	最年少	最高齢
	9歳	64歳